

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 開戸センター
	所在地	あきる野市湊上 332 番地 1
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係（内線） 2 6 3 2
指定管理者	名 称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川 6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外（植木等のせん定を含む。）、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページ URL		http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html
指 定 期 間		平成 3 0 年 4 月 1 日～平成 3 5 年 3 月 3 1 日

2 施設の利用状況等について

項 目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
開館等日数（日）	247	264	265	267	268
延べ利用者数 通所（人）	2,962	3,119	3,118	3,020	3,249
前年度比（人）	△370	157	△1	△98	229
前年度比（%）	88.9%	105.3%	100.0%	96.9%	107.6%
延べ利用者数 自主事業（人）	1,052	2,125	2,708	3,101	3,588
前年度比（人）	621	1,073	583	393	487
前年度比（%）	244.1%	202.0%	127.4%	114.5%	115.7%
利用料金 通所（千円）	2,518	2,719	2,726	2,622	2,802
前年度比（千円）	△565	201	7	△104	180
前年度比（%）	81.7%	108.0%	100.3%	96.2%	106.9%
利用料金 合計 自主事業（千円）	661	1,250	1,597	1,781	2,104
前年度比（千円）	333	589	347	184	323
前年度比（%）	201.5%	189.1%	127.8%	111.5%	118.1%

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収 入	指定管理料	13,160	13,160	13,307	13,397	13,420
	利用料金収入	2,518	2,719	2,726	2,622	2,802
	自主事業収入	661	1,250	1,597	1,781	2,104
	収入計	16,339	17,129	17,629	17,800	18,325
支 出	人件費	10,378	11,688	10,823	10,692	11,759
	維持管理経費	4,181	4,236	4,457	4,609	4,648
	自主事業関係経費	1,714	1,149	1,062	1,336	620
	その他の支出	0	0	0	0	0
	支出計	16,273	17,073	16,342	16,636	17,028
収支(収入－支出)		66	56	1,288	1,164	1,298

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)
意見箱の設置、要望等の聞き取りを行いながら、通所事業の利用者の方は一年に一度くらいの割合で個別に面談を行い、信頼関係の向上に努めています。自主事業では日頃の会話の中から要望や信頼関係を維持しています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
利用者の出入りによりセンター全体が活気にあふれ、にぎやかで楽しそうだという声や、職員全員の挨拶も気持ちが良いと言われました。人気講座の健康麻雀、ギター教室では祭日の開講の依頼が多数ありました。 また食事は栄養のバランス、見た目もきれいで美味しく、センターに来る楽しみの一つになっているという声をよく聞きます。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)
今年度は健康寿命を延ばすための取組として介護予防体操に加え、口腔体操や脳トレ体操を組み込みました。また祝日の振替利用のお奨めにより外出の機会や生きがいに繋がるようにしました。昨年に引き続き夏ボラや職場体験、介護支援スタンプの導入やインターシップの受け入れを行い地域に密着した事業の展開を目指し次年度も様々な工夫で満足して頂けるセンターを目指します。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
光熱費、設備費、活動費の削減に加え、在庫管理を徹底し経費削減に努めました。日々の努力や利用者の協力により、経費削減が実現できています。活動費につきましては、エコ手芸やリサイクルなどの工夫を行いました。引き続き継続して経費削減の取組を図っていきます。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
通所事業、自主事業ともに利用者数は増加傾向にありますが、今後更に毎月の予定表の配布や声掛け等の周知活動に努め、継続して市民の皆様の健康寿命を伸ばす手助けを行います。また、利用者ひとりひとりに向き合えるよう、職員の意識向上とともに「あいさつ」を心がけながら、信頼感や安心感の持てるセンター運営に努め、自主事業からの通所事業への利用者の移行促進に努めます。

7 所管課による総合評価(太枠にS～Bの3段階で評価を記入)

市民サービスの向上
利用者の個別面談、日々の会話や意見箱を活用し、信頼できるセンターの運営を目指している。また、センター全体に活気があり、用意する昼食も工夫されていることから、通い続けたいと思えるセンター運営は、評価できる。
経費削減の取組
光熱費、設備費、活動費の削減に加え、在庫管理を徹底することで経費削減に結びついている。引き続き、事業に支障が出ない程度の経費削減に努めることとする。

業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
通所事業・自主事業ともに利用者数が増加おり、事業運営が安定していることは評価できる。今後もさらなる周知活動に努めていただくとともに職員の意識向上に努めていただきたい。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。